

観光振興基本計画について

1 現行計画（第3次）の概要

（1）目的

本市の観光地域づくりにおける基本的な指針を示すこと。

（2）基本理念

「地域の誇りの醸成(地域振興)」と「地域への経済効果(観光振興)」の2つの効果の好循環により、誰もが“住みたくなる、訪ねたくなる”観光地域づくり。

（3）位置付け

『第5次防府市総合計画』分野別施策のうち、観光振興に関する個別計画。

（4）計画期間

2021年度から2025年度の5年間

（5）構成

計画の目的、基本理念に沿って「防府市を構成する要素である多様性のある資源（Key Value）」をベースに観光振興の「3本の矢」を展開。

多様性のある資源



自然

本市は、山口県中部に位置し、県下最大の広い平野を有しており、瀬戸内海、市内中心を流れる一級河川「佐波川」、中国山地に連なる山々に囲まれた自然の宝庫です。また、瀬戸内海国立公園に含まれる美しい海に囲まれた野島を有し、手付かずの自然が残っています。市内で一年中自然の美しさを感じることができます。

- ・大平山、右田ヶ岳、天神山、桑山などの山
- ・富海や野島などの海
- ・佐波川
- ・田園風景
- ・體をはじめとする海の幸
- ・ちくわや蒲鉾などの加工品 など



歴史

日本の歴史に初めて防府地域が登場したのは、日本書記に示されている『周防娑摩の浦』（諸説あり）です。飛鳥時代に、防府市国衙に周防国の国府が置かれ、永く栄えてきました。その後、周防国分寺、防府天満宮等といった形で様々な歴史が刻まれ、現在でも本市の魅力を示す文化財として体感することができます。

- ・防府天満宮、周防国分寺
- ・毛利氏庭園等の名勝
- ・周防国衙跡等の史跡
- ・月の桂の庭
- ・その他、文化財や国宝
- ・祭礼 など



スポーツ

人々の生活の中で、地域に生まれ根付いた活動が様々あります。マラソンや競輪などのスポーツは、そのひとつです。本市では、人と人がスポーツによりつながり、地域内外での交流も生まれました。このことからスポーツは本市の貴重な資産であるとともに、将来の地域社会の向上発展のために重要な要素です。

- ・防府読売マラソン大会
- ・防府競輪場
- ・佐波川サイクリングロード
- ・レノファ山口U-18
- ・ソルトアリーナ防府等のスポーツ施設 など



生活文化

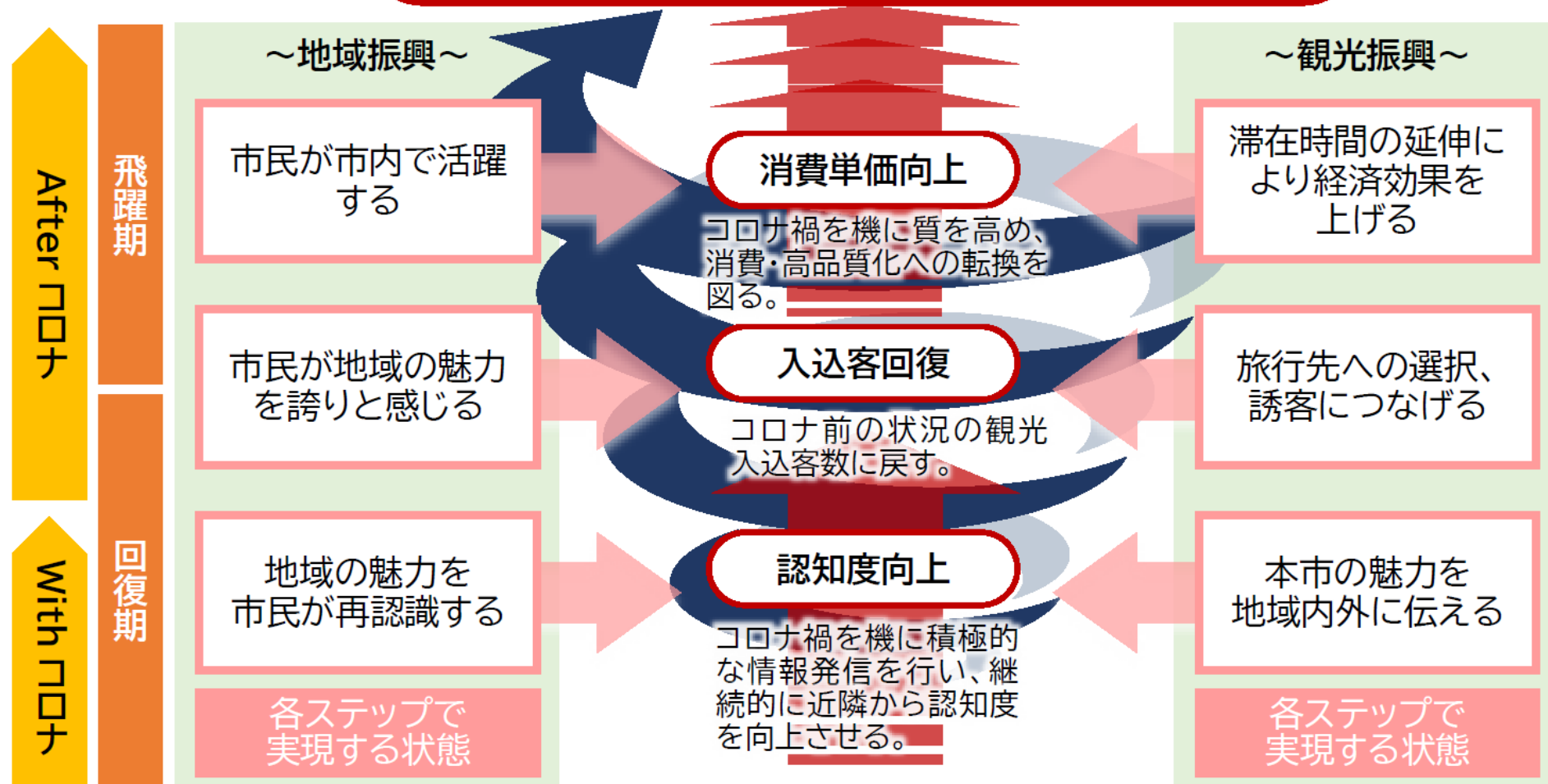
山・海・川・平野等が織りなす多彩な環境を有し、そこで様々な生活文化が培われ、瀬戸内地域の政治・経済の中核であり続け、現在まで全国規模でその影響を及ぼしてきたところです。これまで蓄積されてきた生活文化は、時代に合わせ変化・アレンジされながら受け継がれてきましたが、その本質的価値は変わらず、多くの人の中に継承され続けています。

- ・萩往還が育んだまち並みと商業文化
- ・天満宮の門前町として発達した表参道商店街
- ・寺社にまつわる伝統文化
- ・藍染や鍔物、和装などの新たな文化
- ・街道が生み出した醸造文化
- ・鍋-1グランプリ等の新たなグルメイベント
- ・外郎などの和菓子、どぶろく
- ・ほうふ玉子かけごはん など

観光振興基本計画について

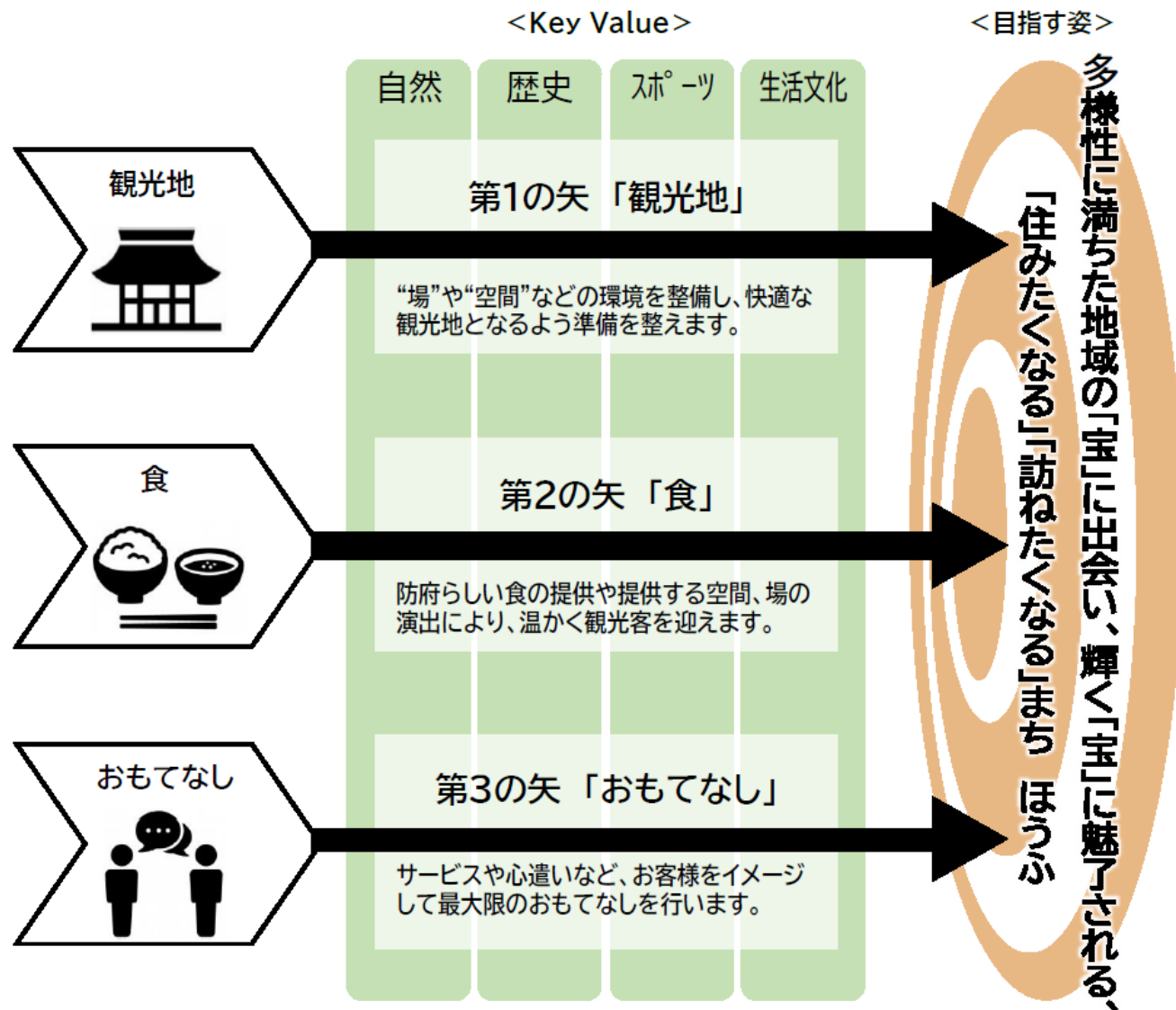
「防府市を構成する要素（Key Value）」を活かし、好循環を生み出す

多様性に満ちた地域の「宝」に出会い、輝く「宝」に魅了される、
「住みたくなる」「訪ねたくなる」まち ほうふ



観光振興基本計画について

「観光地」、「食」、「おもてなし」の「3本の矢」を展開



観光振興基本計画について

2 現行計画（第3次）の重要業績評価指標（KPI）について

指標	計画策定当初	2020年	2021年	2022年	2023年	目標値 (2025年)
①認知度向上	(2019年) 439位	467位	491位	503位	480位	300位以内
②観光入込客数	(2019年) 2,397,000人	1,861,637人	1,922,310人	2,048,936人	2,314,695人	3,000千人
③1人当たりの 観光消費額	(2020年) 5,722円	-	5,626円	4,999円	5,448円	10,000円

3 次期（第4次）観光基本計画の策定について（スケジュール）

年度	内容
2024年度 <令和6年度>	防府市観光振興推進協議会 2回程度開催
2025年度 <令和7年度>	防府市観光振興推進協議会 3回程度開催
	議会説明
	次期基本計画のパブリックコメント実施
2026年度 <令和8年度>	公表・実施